



熱き心を内に秘め、その使命を
満開の桜に誓う新入消防職員

湘南 にのみや 議会 じより

平成26年
3月定例会
2/25～3/19

－平成26年度予算決まる－

- ◆町長施政方針に3議員が総括質疑…………… 2～4 P
- ◆予算審議と賛成・反対討論…………… 5～7 P
- ◆一般質問で4議員が登壇…………… 8～10 P
- ◆議会で決まったこと…………… 11～12 P
- ◆委員会活動報告・提言書を提出…………… 13 P
- ◆この人(ホープ)紹介…………… 14 P

6月定例会のお知らせ

6月6日(金)から開会の予定
本会議・委員会の傍聴できますーお気軽にどうぞー

総合計画に基づき町政を問う！

進の進ちよく・観光とブランド開発など

町長の

施政方針

平成26年度は、「町民」「地域」「行政」の力を結集した「オール二宮」で、まちづくりに取り組む。

①「生活の質の向上と定住人口の確保」

・子育て施策全体について、引き続き強化、底上げを図る。

・将来に向けた指針となる各種福祉計画を改訂または策定する。

・英語教育の推進をはじめ、特色ある教育施策を推進する。

・子育て世代が魅力を感じる図書館運営を目指す。

②「環境と風景が息づくまちづくり」

・（仮称）剪定枝資源化施設の継続整備を実施する。

・（仮称）風致公園の最終整備を行い、魅力ある公園として開園する。

・オリーブや湘南ゴルフ等、継続的な普及奨励を進め「二宮ブランド」の活性化を図る。

・東大果樹園跡地の暫定利用の実施とともに、将

重点施策・事業から 経済活性化施策について問う

脇 正文 議員



問 二宮ブランド活性化の推進体制、進捗状況と可能性について。

町長 現在の二宮ブランド推進協議会は、戦略に掲げる目標を一体的に推進する組織体制になっているものと考えている。東京、横浜、川崎など、消費地が近いというこの湘南地域の利点はものすごく有利に働くだろう。

問 経済の活性化となる日帰り観光推進の構想は。

町長 二宮ブランド戦略と一体で取り組んでいく。また、近隣の他地域との連携・広域の観光ネットワーク化を図り、さらなる集客に努めていく。

問 吾妻山、風致公園等
通年観光での結びつきは。

町長 冬から春は吾妻山。夏は海。国の直轄事業で砂浜再生が認定され、海の事業がまた再開できる。秋は、ラディアンの裏山。駐車場のすぐそばで楽しむスポットができる。シーズンを通して、この町の海、山、川、どこを取っても魅力的な町をつくることで、来町者またそれを迎える側の町民との、相乗効果で町の活性化に結びつけていきたい。

問 商店街景観形成事業を継続・拡充させていく理由はないか。

町長 ハンギングバスケット、花壇やフラワーポット設置で、一体感ある景観形成により、場づくりが進んでいること、講習や商店街ツアーを通じて北口通り商店街への



花で商店街の活性化が図れるのか

愛着を持ったサポーターが育成されつつある。

問 ハンギングバスケットを見直す気持ちは。

町長 予算を使うという批判があれば、やり方を転換していく必要もあるのではないかと。携わる商人のやる気が変わってきたことも大きな成果。

問 特色ある教育施策の目標は何か。

町長 英語教育をはじめ特色ある教育を、関連するその他の教育、子ども・子育ての取り組みと効果的に連動させ、定住人口の増加につながるよう積極的に推進していく。

総括 質疑

26年度予算・第5次

特色ある図書館改革・定住促

来構想について検討する。

③「交通環境と防災対策の向上」

・デマンドタクシー及びコミュニティバスの検証を重ね、町に相応しい地域公共交通の姿について、検討する。

・町内すべての街路照明灯をLED化し、安全・安心で環境にやさしいまちづくりを推進する。

・老朽化している救急自動車は災害対応特殊救急自動車へ更新する。

④「戦略的行政運営」

・既存公共施設のあり方を調査・研究し、公共施設再配置計画の策定を進める。

・コンビニ収納を開始し収納率向上を目指す。

・効果的、印象的な町のPRのため、マスコットキャラクターを公募する。

○ここで掲載したものは各種施策の一部です。

施政方針の詳細については、町ホームページをご参照ください。

<http://www.town.ninomiya-kanagawa.jp/>

新年度予算への取り組みと これまでの事業の検証を問う

神保 順子 議員



特色ある図書館運営

問 町は3か年計画で図書館改革を行い、正規司書を削減することとしたが、子育て世代が魅力を感じる図書館運営をどのように進めていくのか。

町長 子育て関連資料の収集など、子育て世代にやさしい環境整備を行う。人事に関しては、非常勤化を進め、意識改革のもと少数精鋭で運営を行う。予算の削減を図っていく。

定住人口の確保

問 福祉・教育の充実を掲げ定住促進を進めてきたが、いまだ人口減少は止まらない。各課連携を

図り、横断的に取り組むことが必要と考えるが、今後の展開について伺う。

町長 これまでの施策を推進すると共に、母親が働きながら育児ができる環境作りをテーマに現在模索している。課題は多いが、子ども育成課、福祉課、教育委員会が連携し、横断的に取り組みながら、ニーズに合った子育てしやすい町づくりを進めていく。

二宮ブランドと特産品

問 これまで町が取り組んできた落花生や湘南ゴールドの商品開発やブランド化をどのように進め、また商工会との関わりをどのように考えるか。

町長 町では小田原市との交流を進めていることから、今後ブランドについても共同で進めることが可能になると考えてい

る。商工会は県と密接につながっており、また新しく就任した会長は取り組みにも積極的。補助金に縛られることなくやってもらいたいと期待している。

災害対策

問 昨年新たに町が創設

した災害対策基金は現在3千万円。3年間で1億円の積み立てを想定したが、今後の展望はどうか。

町長 今後は寄付を集めるなど工夫を図り、早く目標を達成するよう鋭意努力する。



子育て支援に絵本コーナーへのアドバイザー配置が望まれる

総合計画の重点施策に沿って 各事業について問う

添田 孝司 議員



保も必要だがいかがか。
町長 改革の最初として子育てを重視した。高齢者に関心のある本などの購入やIT施設との複合化も検討する。中古本のネット購入は利用する。

町民活動推進補助制度

二宮町は国、県平均を上回る高齢化率のもと、前例のないまちづくりを求められている。
平成26年度は第5次二宮町総合計画の2年目となり、重点施策に沿って質問する。

特色ある図書館運営

問 図書館利用者は年々減少しており、年間入館者数は11年間で約10万人、29%も減少しており改革が必要だ。子育て世代に魅力あるだけでなく、高齢者の交流の場であり、IT化も必要だ。図書ネット購入等経費適正化で改革への資源確

大学の知的財産を活用する産学連携は有効だが、課題はなにか。
町長 将来的な活用を目指したシステム構築に向け、近隣大学と話し合いを進めるための検討段階だ。

行政改革

行政改革大綱では、財政指標等数値目標を掲げ評価を明確化すべきでは。
町長 数値目標は各個別計画で示す。人件費や物件費は数値目標を設定し、次期行政改革大綱及び推進計画で具体的に進めるように努める。

問 本年度作成する次期



旧態依然の図書館から進化しよう

陳情者の思い
ようやく
オープンに！

消防に
女性2名が配属！

議会トピックス

教育福祉常任委員会・陳情審査での委員長の出だしの上。「議会基本条例第15条の規定により、陳情者の意見を聞くことにしたいが」と始まった。

今までも陳情者の意見は聞いてきたが休憩中としていたもので、その内容は記録に残っていなかった。

議会基本条例の第15条には「議会は陳情を政策提案と位置づけ提出者の意見を聴くことができる（要約）」とある。

今議会から公開となり、詳細が議事録に残されることになり、会議の透明性がまた一歩進んだ。その陰には議事録作成のテブ起こしに奮闘する、職員の努力が欠かせない。感謝したい。

消防予算の庁用器具費はベッド2名分。内容をよくよく聞いてみると、なんと女性消防士が2名配属になり、そのための施設整備が行われるというではないか。

消防課長は眉も動かさず「女性だからと言って、今まで特別拒んできたわけではない。男性と同様の取り扱いになる」と答弁。

今までの審査で女性の登用を確認した時には「女性が働ける環境に整えるには経費的に無理がある」という答えだったけれど…。

何はともあれ、女性の視点が非常に重要な職場である。今後の若き2人の活躍を、大いに期待したい。

平成26年度 予算審査

積極的な子育て関連施策など新規事業に期待 図書館の資料整備・運営の改革と事業の推進を

平成26年度各会計当初予算金額及び本会議採決結果

会 計 名	予 算 額	前年度比較	採 決 結 果
一 般 会 計	76億円	1.4%減	10対1で可決
国民健康保険特別会計	35億2,653万4千円	1.6%増	10対1で可決
後期高齢者医療特別会計	7億4,345万6千円	13.2%増	10対1で可決
介護保険特別会計	22億 185万6千円	3.6%増	全員賛成で可決
下水道事業特別会計	10億 12万8千円	1.0%増	全員賛成で可決
総 額	150億7,197万4千円	0.8%増	



老朽化著しい、し尿処理施設
500万円で躯体調査

予算審査特別委員会は、7議員で構成され、予算書、予算説明等をもとに、5日間の審査とし尿処理施設、図書館、稲荷谷地内雨水排水対策工事の3か所の現地視察を行った。

予算審査特別委員会の構成は次の通り。

委員長 小笠原陶子
副委員長 添田孝司
委員 西山宗一
浅賀一伸
桑原英俊
根岸ゆき子
二見泰弘

予算審査の結果は、浅賀委員が一般会計、国保会計、後期高齢者医療会計に反対討論、二見委員が5会計に賛成討論を行った。

委員会は審査終了後に要望をまとめた「審査意見（下記参照）」を、本会議で報告した。

本会議最終日では、浅賀一伸、桑原英俊、脇正文、近藤行宏の各議員がそれぞれの立場から討論を行い（6・7面に討論概要）、上記の採決結果となった。

予算審査特別委員会 審査意見

- ① 公共施設の再配置計画については、施設状況等調査をふまえ、町民と共に実効性のあるものを作成されたい。
- ② コミュニティバスの利用率を上げ、デマンドタクシーと共に、持続可能な地域公共交通を維持されたい。
- ③ 町民活動推進補助は、町民の新しい活動が生み出されるよう各事業を個別単発なものに終わらせず、支給基準を明確にされたい。
- ④ 自主防災組織に機器を配付すると共に、地域の防災意識を高め、訓練活動を通し、レベルアップを図られたい。
- ⑤ ごみの分別方法の変更については、地域環境推進員をはじめ
- ⑥ 在宅医療推進事業については、長期的展望をもって推進し、町民に分かりやすい制度とされたい。
- ⑦ 梅沢海岸背後地整備については、漁港区域内測量調査及び人工リーフの効果検証結果にもとづいて、将来構想を見据えた計画を策定されたい。
- ⑧ 図書館改革を進め、ラディアン利用率を高め、施設のメリットがより生かせる運営を図られたい。



3月11日 14時46分黙祷

賛成討論

近藤行宏議員

財源確保への意欲と バランスのとれた福祉施策を評価

一般会計歳入面で町税全体では近年になく1・4%の増加が見込まれた。26年度よりコンビニ収納を開始し、収納率向上対策事業と併せ、財源確保に対する町の意欲に期待する。臨時財政対策債の発行額を抑制的なもの

のとし、残高を縮減させる方向性が顕著に認められる。例年と同程度の財源を捻出したことを含め評価に値する。

高齢者・障害者の福祉施策にも十分に配慮され、バランスを欠くことがないものとなっている。4特別会計は引続き、適正かつ計画的な会計運営を見込める予算である。

	従 来	LED後 10年間	リース期間 終了後 5年間
電気代	13,238,153 円	5,272,355 円	5,272,355 円
修 繕	836,580 円	0 円	0 円
新設 改良	230,000 円	0 円	0 円
リース 料 金	0 円	8,506,488 円	0 円
合 計	14,304,733 円	13,778,843 円	5,272,355 円

街路灯のLED化
リースで経費削減を図る

する 討論

一方、消費税
増など町民
負担懸念

賛成討論

脇 正文議員

剪定枝資源化施設整備事業に 安全対策を第一にすることを 強く要望して、賛成

一般会計予算は、第5次総合計画実現に向けた前期の取り組みとして期待する。ただ、剪定枝資源化施設整備事業については、剪定枝というごみの処理工場を給食センターという子どもの口に入る給食の工場の隣につくり、かつ、施設や設備の経年による老朽化で問題が起きることから、最初から

先まで考えた安全対策を第一にして事業を進めることを強く要望し、一般会計予算に賛成する。3つの健康福祉関係特別会計については、適正な予算が組まれたと認められる。下水道特別会計については、今後とも接続率の向上、経営健全化に取り組むことを要望する。



給食センターに隣接
臭気や粉塵の影響は大丈夫か？

反対討論

浅賀一伸議員

消費税の負担増から町民を守る
積極的な予算が必要

高齢者向け肺炎球菌ワクチン助成は、国が対象を65歳以上としているのに町は75歳以上だ。認定保育園には補助金を出し働く保護者を応援すべき。4月から消費増税による家計負担増に対し国による緩和策のほか、町が独自で地方自治体の役割を

十分に果たしているとは言えず一般会計に反対する。しかし図書購入費を維持したことは評価する。国保特別会計は重い国保税を引き下げるべき。また資格証発行率が高く

冷たい姿勢のため反対。後期高齢者医療特別会計は差別的医療で反対。介護保険特別会計は保険料の値上げを抑えた努力を評価し賛成。下水道事業特別会計も賛成。



消費税増税で
家計と生業はどうなることが

予算 に 対

賛成討論

桑原英俊議員

将来を見据えて、工夫を凝らした
効果的な予算編成に賛成

一般会計予算の自主財源では、町全体で前年を上回り、1・4%の増となった。近年増える傾向にあった臨時財政対策債をマイナス18%とした事は、地方債残高の適切な管理に前向きな姿勢として捉え評価する。投資的経費は、適切に予算配分している。また、妊婦健康診査の補助の拡充、高

防接種への新規事業は、的確に住民要望を捉えている予算である。下水道事業特別会計は、枝線工事の他、山西污水幹線整備工事を前年度に続き予算化し、公共下水道事業の計画的推進が図られている事を評価する。将来に向け、様々な布石を打った予算であると評価する。

前年度に引き続き越地児童館前の
山西污水幹線整備工事



財源捻出に工夫し、
町債発行の
抑制を評価

町政を問う

3月7日の本会議では4名の議員が4件の問題を行政側に質問した。
記事は本人の原稿に基づくもの。



一般質問



近藤 行宏議員

問 認知症高齢者を支える仕組みづくりについて、予防という観点での事業システムの構築は確立できたと言えるのか。
健康福祉部長 予防活動に取り組むことは大変重要と捉えている。一定のシステムは26年度に向け確立できたと判断する。
問 生活支援サービスについて、「地域見守りネットワーク」の推進における効果等の進捗状況は。
健康福祉部長 委員会での意見を各団体や機関に持ち帰り協議している。地域の見守り活動の強化につながっていると考ええる。
問 高齢者の健康づくりと介護予防の推進について、健康のアンケート調査の評価と今後の方向性、高齢者の食育に対する方針と施策の展開について、それぞれ伺う。

認知症サポーター養成講座



認知症予防も高齢者施策の重要な課題と捉えるべき！

健康福祉部長 アンケート調査は3年間にわたり、7千365人に実施した。現在分析中だが、介護予防の必要性が高いことを再度認識した。介護保険法の改正予定に沿って事業の再編成を考える。
食育は生涯にわたり大切であり、26年度策定の「健康増進計画・食育計画」の中で取り組みを示していきたいと考える。
健康福祉部長 社会参加の促進の一環として関係機関への後方支援を行いながら、今後も環境整備に取り組んでいきたい。

答

2025年問題に向けて課題の解決に取り組む

問

高齢者施策に力を入れより積極的に取り組むべき

一般質問

問 国は自主財源を地方が確保できるよう「ふるさと納税」寄付金税制の見直しを行った。それを活用し昨年多くの自治体が、過去最高の納税額を記録している。その状況を鑑みて町の見解を伺う。

政策部長 二宮町にふるさと納税をしたい方の機会の確保と、定住促進に絡めた町の魅力発信の可能性から、その必要性は否定できない。まずはネットのサイト上で、ふるさと納税の使い道を設定する事から検討したい。

問 ふるさと納税の成功は、特産品の魅力と、簡易な納税方法のクレジット決済の導入とされる。ホームページの検索実績や、システム導入の可能性を問う。

企画政策課長 1月のアクセス数は6万件を超え、通常の倍になる。一番の



三橋 智子議員

問

ふるさと納税で税外収入確保とブランド品の活用を図れ

答

町の魅力発信に期待できる
しかし、導入準備が必要



二宮ブランドの次の課題は
販路拡大と全国展開

人気は吾妻山公園である。

財政課長 導入するには予算化やシステム構築のために準備が必要だ。

問 特産品の提供など、ブランド開発との連携は図れるのか。

都市経済部長 販路の拡大や全国展開の足掛かりとなる点では期待が持てる。しかし贈答品として提供できるまでに検討が必要となる。

産業振興課長 商工会、観光協会、JA湘南等と連携推進することで、効果的な運用を図っていく。

問 菜の花観光時期の前に導入することが効果的だが。

政策部長 総合的に勘案して準備を進めていく。



二見 泰弘議員

問

超高齢化社会の到来による医療費増大の対策を問う

答

検診と医療の実態を
分析し事業展開する

問 神奈川県の報告では、平成24年4月から6月診療分における国保の、被保険者の重複・頻回受診者は2万5千833人となっているが、二宮町の重複・頻回受診者の数は把握しているか。

健康福祉部長 町の国保総合システムによれば、平成24年4月から6月までの診療分では、276件84人が重複している。年間では987件292人が重複・頻回受診をしていることになる。

問 二宮町では、多くの人が重複・頻回受診していることになり、必要以上に医療費が高くなっている可能性がある。その状況を確認し、看護師が直接訪問指導して、適正な受診を促進することが、重要と考えるがどうか。

保険医療課長 26年度中に国保データシステムが利用できるようになる。この新規システムにより、レセプトデータだけでなく、検診・医療までの分析ができるので、それを有効に使い保険事業を展開していく。

問 薬の品質は変わらないが、薬剤費の自己負担が格段に安くなるジェネリック医薬品のメリット

利用できるようになる。を被保険者に伝え、その使用を積極的に促す努力はしているのか。

保険医療課長 ジェネリック医薬品についての利点は、配布される保険のしおりに書かれている。また差額通知を発行することで、被保険者に理解をしていただくよう工夫をしている。

後発医薬品(ジェネリック医薬品)ってご存じですか?

後発医薬品(ジェネリック医薬品)とは、先発医薬品(新薬)の特許が切れた後に販売される、先発医薬品と同じ有効成分、同じ効能・効果をもつ医薬品のことです。

ポイント1 先発医薬品より安価で、経済的です。
■ 患者さんの自己負担の軽減、医療保険財政の改善につながります。

ポイント2 効き目や安全性は、先発医薬品と同等です。
■ 国では、後発医薬品が先発医薬品と同等の品質・有効性・安全性を有するかどうかについて厳格な同等性の審査を行っています。

ポイント3 欧米では、幅広く使用されています。
■ アメリカ、イギリス、ドイツなどで、使用されている後発医薬品の約半分以上がジェネリック医薬品。
■ 日本の後発医薬品のシェアは、2割に達しないのが現状です。

後発医薬品(ジェネリック医薬品)を希望される場合は医師・薬剤師にご相談ください。

厚生労働省

医療費抑制のため
ジェネリック医薬品の普及を!



根岸ゆき子議員

問 大規模災害発生時、潜在的災害弱者は想定以上とも考えられ、避難拠点は自宅を含め点在すると思う。介護が必要の方々の命を守るためにもせめて福祉避難所には非常電源の確保が必要である。防災マニュアルにもうたわれているが、現況はどうなっているか。

町民生活部長 非常電源に関しては保健センターは8時間、防災コミュニティセンターは5時間程度。協定先の社会福祉施設に関しては、5施設で確保され、4施設では有していない。

問 藤沢市の福祉施設では、LPガスでの発電機を導入した。電気や都市ガスより復旧が早く分散型エネルギーとしての強みがある。各施設へ導入を紹介するのはいかがか。

防災安全課長 LPガス



介護施設「もとまちな家」では地域と共に避難訓練を実施した

問 地域資源の活用で潜在的災害弱者の命を守る準備を！

答 施設や自主防、当事者団体と話を進めている

は発電時間を長くし、効率はよく安価であることが利点。

町民生活部長 色々種類があり、民間施設の判断になるが紹介はしている。

問 保健師等専門職の動きや地域連携についてはどうか。

防災安全課長 専門職は、他県から援助が来る状態になった時には各拠点を巡回する。地域ケア会議でも情報提供し、実際にともまちな家と自主防災組織で訓練もした。

問 自立支援協議会が提出した意見書の取り扱いはどうなっているか。

健康福祉部長 各団体と引き続き意見交換を進めていく。

議案・陳情に対する賛否

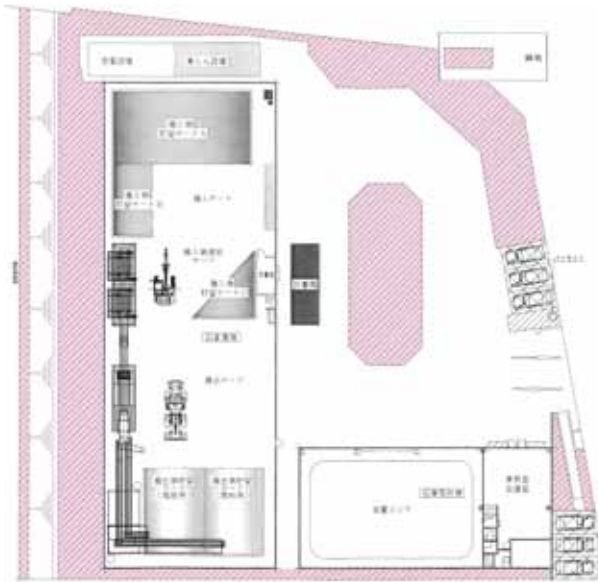
	小笠原陶子	西山宗一	杉崎俊雄	浅賀一伸	神保順子	桑原英俊	脇正文	添田孝司	根岸ゆき子	近藤行宏	二見泰弘	三橋智子	池田宏	結果
町長提出議案名（左は議案番号）														
1 二宮町消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
2 特別職員報酬費用弁償の額並びに支給方法条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
3 二宮町廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
4 二宮町児童遊園地条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
5 二宮町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
6 大磯町二宮町障害程度区分等認定審査会共同設置規約の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
7 二宮町（仮称）剪定枝資源化施設建設工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	可決
8 平成25年度二宮町一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
9 平成25年度二宮町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
10 平成25年度二宮町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
11 平成25年度二宮町介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
12 平成25年度二宮町下水道事業特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
13 平成25年度二宮町一般会計予算	△	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
14 平成25年度二宮町国民健康保険特別会計予算	△	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
15 平成25年度二宮町後期高齢者医療特別会計予算	△	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
16 平成25年度二宮町介護保険特別会計予算	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
17 平成25年度二宮町下水道事業特別会計予算	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情名（左は陳情番号）														
1 国民健康保険への国庫負担増額を求める陳情	△	▲	▲	○	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	欠	趣旨採択
2 要支援者に対する介護予防給付継続と利用者負担増中止を求める陳情	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	欠	不採択

※ 議案番号1～17について、○は議案に対する賛成、●は反対したことを意味しています。
※ 陳情については、○は採択、▲は趣旨採択、●が不採択です。
※ 議長は採決に加わりません。ただし、議案第13号～第17号、陳情第1号・第2号の採決時に、池田議長が体調不良により欠席し、小笠原副議長は議長代理となったため、採決に加わりません。（議員定数14名のうち、1名欠員）

議会で決まったこと

剪定枝資源化施設工事契約について

(仮称) 剪定枝資源化施設建設工事について、請負契約を締結するもの。新明和・匠建設特定建設工事共同企業体が3億3千793万2千円で落札。工事内容は、既存建屋を活用し破砕機や貯留ヤードを設置、旧事務所棟の屋根に5kwの太陽光発電装置を設置する。反対討論として「施設管理においては、様々な対策が取られ運営されると思うが、においが絶対に漏れないと言い切れるのか疑問であり、給食センターの隣に資源化施設を造ることに反対する」賛成討論として「平塚



施設全体配置図(緑が丘工業団地内)

市及び大磯町とのごみ処理広域化にあたり二宮町が担当する施設で、自然の木を破砕処理するものである。化学物質やにおいの強い物を処理する施設ではなく、作業は全て屋内で行うため、周囲に木の粉は飛散しない。消臭剤噴霧装置によりにおいを消し、環境保全対策が万全に施されているので賛成」11対1で可決。

大磯町二宮町障害程度区分等認定審査会共同設置規約の一部変更について

障害保健福祉施策を講ずる関係法律の整備と、障害者自立支援法の一部改正に伴い、「大磯町二宮町障害程度区分等認定審査会」の共同設置規約の題名と条文中の字句を改めるもの。全員賛成で可決

条例関連5議案

すべて全員賛成で可決

制定

消防長及び消防署長の資格を定める条例

消防組織法の改正に伴い、消防長と消防署長の資格を、これまで政令で定めていたものを条例として定めるとしたものの。国の基準を参考にし、それぞれの資格は現状通り変わらない。

平成26年4月1日施行

一部改正

特別職員報酬費用弁償の額並びに支払方法条例

非常勤特別職の各種委員について、専門的知識を有する学識経験者(弁護士や大学教授など)に区分を設け報酬額の見直しを行うもの。現行の6千2百円から1万円に改正。

平成26年4月1日施行

児童遊園地条例



新設された中里北第2遊園地
中里2丁目地内(満願荘跡地)

非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例

中里地区内の開発行為により、児童遊園地が設置されたことに伴う改正。問 公園が一番奥の高台にあり、管理しづらいのではないか。答 町の開発指導の中で、設置基準に合致しており許可を出している。遊具も維持管理しやすいものになっている。公布の日から施行

廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例

法律に基づき最終処分場の廃止に向け、適正な維持管理を行うための改正。終了届提出の準備を行う。

平成26年4月1日施行

25年度補正予算（3月補正/全員賛成で可決）

(万円未満は切り捨て)

項 目		補 正 額	主 な 内 容		総 額
一般会計		1億977万円	歳入	町税（町民税・町たばこ税他） / 3, 846万円	79億1,787万円
				地方消費税/▲3, 000万円	
				国庫補助金/ 6, 444万円	
				町債/ 4, 230万円	
			歳出	財政調整基金積立金/ 3, 500万円	
				公共施設整備基金積立金/ 1, 000万円	
				災害対策基金積立金/ 1, 000万円	
				二宮小学校大規模改修工事/ 1億1, 482万円	
特 別 会 計	国民健康保険	▲8,643万円	歳入	一般療養給付費国庫負担金/ 2, 164万円	35億6,489万円
				療養給付費交付金/▲7, 845万円	
		歳出	共同事業拠出金/▲2, 694万円		
			予備費/▲2, 396万円		
	後期高齢者医療	▲27万円	歳入	一般会計繰入金/▲27万円	6億8, 466万円
			歳出	後期高齢者医療広域連合納付金/▲27万円	
	介護保険	▲6,092万円	歳入	介護給付費国庫負担金/▲1, 265万円	21億322万円
				介護給付費交付金/▲3, 071万円	
			歳出	介護サービス等諸費/▲2, 598万円	
				介護予防サービス等諸費/▲2, 555万円	
	下水道事業	▲4,535万円	歳入	社会資本整備総合交付金/ 200万円	9億112万円
				公共下水道事業債/▲5, 030万円	
歳出			酒匂川流域下水道維持管理負担金/▲964万円		
			公共下水道整備事業/▲3, 415万円		



改修予定の西側校舎

問 二宮小学校大規模改修工事の内容はなにか。

答 西側校舎と校庭の改修で26年度予算から前倒しした。外壁改修、防火シャッターの取り換え、廊下等シーートの張り替え、普通教室の床の研磨、天井等の塗装、照明の増設工事を行う。校庭は表土と土壌改良材を混ぜて水はけをよくする。工事中の夏休みの学童保育は新設の第3分団詰所2階を利用する。

問 なぜ補正予算で計上したのか。

答 地方債は当初予算だと起債充当率は90%だが、国の補正予算に乗せれば100%となる。後年度に、交付税に参入される率も、比較では70%と100%となり補正予算債は有利に働く。

陳情はどうなった？

国民健康保険への国庫負担増額を求める陳情

10対1で趣旨採択

提出者は平塚地域社会保障推進協議会

内容は①国庫負担は最低でも1984年以前の水準を確保する。②福祉医療制度実施自治体に対するペナルティーをやめるよう、国へ意見書提出を求めるもの。

国民健康保険の財政基盤強化策を打ち出しているので趣旨採択が妥当」

採択として「国庫負担を戻させ、地方自治体の財政、町民の命や生活を守っていくべき」など討

趣旨採択として「国は論があつた。」

要支援者に対する介護予防給付継続と

利用者負担増中止を求める陳情

9対2で不採択

提出者は平塚地域社会保障推進協議会

内容は①要支援者に対する介護予防給付の継続、②介護保険サービスの利用者負担を増やさない、③介護保険財政に国が責任を持つ。その実現のためには「10年後を見据えて法改正している。全体バランスの中で一定以上所得者の利用者負担の見直しは致し方ない」

め国へ意見書提出を求め
るもの。

採択として「介護の社
会化において地域包括ケ

委員会では、可否いずれも出席委員の過半数に達しなかったが、本会議の採決で不採択と決した。討論があつた。

不採択として「国は介

教育福祉常任 委員会の活動報告

課題として、ＩＴふれあ
い館の図書館への複合化
についても検討すること
とした。

「子育て」について、
子ども達の現状を知るた
めの調査を行うため、５
回の勉強会を開催し、委
員間で意見等を出し合っ
た。さまざまな「子育て」
に対する考えの中から、

東京大学果樹園跡地の
本格利用について

本課題を新たな調査・
検討課題とした。

有害鳥獣被害地視察

視察後、今後の対策と
して「イノシシ捕獲者へ
の報奨制度」及び「イノ
シシの穴を掘る習性につ
いて、専門機関への調査
依頼」を要望する報告書
を作成し、一色地区の農
業者及び町に提出した。

今後は、それを元に、
「子育て」に関わる人達
との話し合い、意見交換
を行っていく予定である。

総務建設経済常任 委員会の活動報告

公共施設更新について

将来的に財政難が予測
される中、順次更新時期
を迎える公共施設の更新
問題について、調査・検
討するために既存資料の
収集を行った。地域集會
施設及び学校施設につ
いて優先して調査するこ
ととした。また、特異的な

禁煙条例制定について

条例ありきでなく、ま
ずは喫煙マナー向上対策
を町に政策提言すること
となり、委員会で政策提
言書を作成した。議会全
員協議会の承認を得て３
月19日、町に提出した。
提言内容は下記の通り。



南北駅前広場における路上喫煙禁止に関する提言書(要約)

1 委員会の調査・研究 経過等

先進地である静岡市の
視察を行った後、町の路
上喫煙の実態調査とアン
ケート調査を行った。実
態調査は通勤通学時間
帯、朝夕の3時間半行い、
全乗降者数1万266名
に対し、199名の喫煙
者があり、1・9%の喫
煙率であった。

3 今後の方向性

路上喫煙による被害防
止と環境美化の観点か
ら、まずは路上喫煙マ
ナーの向上にむけ、町民
意識を高める施策の推進
が必要であるとした。

4 結論

禁煙条例の制定には、
指導員の確保や喫煙所の
設置など、ある程度の経
常経費が必要であり、町

を科すことも生じてくる。
財政の現状から時期尚早
であると判断した。しか
しアンケート結果などか
ら、喫煙マナーの向上は
多くの町民の願いである
と感じ、まずは町民意識
の啓発が急務である。具
体的には、看板や路面表
示による啓発や、広報・
チラシでの町民周知を行
うこと。同時に分煙が可
能な環境整備も重要であ
る。

① 喫煙による被害の防
止、そして美しいまち
づくりのため、路上で
の喫煙マナー向上を
図る啓発施策を進め
ること。
② 町民要望もあり、二
宮小学校区の指定通学
路で、他にも通学に多
くの学生が利用する南
北駅前広場を対象地域
として、まずは、徹底
した啓発活動を行い、
必要に応じ対象地域を
拡大すること。
③ 喫煙所設置等による
分煙化を検討するこ
と。

2 課題

条例の制定有無にかか
わらず、喫煙者への配慮
が必要で、分煙施設の設
置が望まれる。また、喫
煙規制をするには指導員
の確保と、違反者に罰則



3月19日町長室にて提言書を手渡す

議会事務局人事

平成26年4月1日付け
にて、次の通り異動があ
りました。

「一」内は旧職名

○渡辺康司 議会事務局
長兼庶務課長〔都市経済
部長〕

○安藤宏孝 総務部長
〔議会議務局長兼庶務課長〕

わが町の ホープ この人紹介



鈴木雅博さん(26歳) 百合が丘

キックボクサーの
頂点目指して
みなぎる闘志！

鈴木さんは、Kルールを採用した立ち技格闘技「Krush（クラッシュ）」で今年3月16日、プロ58kg級8戦目を戦い、判定3-0で優勝しました。2011年にプロになって3年目の朗報



格闘技もスポーツだ！
熱戦に拍手



です。二宮で生まれ育ち、二宮西中学ではソフトテニス部でしたが、高校1年のとき友人に誘われ、テコンドーの道場に入り、強い人と戦う面白さを知りました。日々練習に励み、高校3年で全日本学生テコンドー選手権大会高校生の部無差別級で優勝し、神奈川大学3年時の2008年11月全日本フルコンタクトテコンドー選手権無差別級大会で優勝、また、2011年6月12日全日本新空手道選手権大

会軽量級で優勝しています。今は小学生等に指導もしています。取材に応じていただいたときは、試合から1週間後でした。父親は試合には必ず応援に行くのですが、母親はさすがに心配しているとのこと。しかし、「自分で選んだ道、チャンピオン目指して頑張る」と、試合の傷が癒えぬ顔が笑っていました。現在、町田市のチームドラゴンに所属し、スポンサーを募集しています。

★カメラルポ★

待ちに待った吾妻山の遊具



安全第一に工事費込みで3千万円（25年度予算）

自治功労・永年勤続受賞

全国町村議会議長会・自治功労表彰（在職15年）小笠原陶子・西山宗一 県町村議会議長会・永年勤続表彰（在職11年）杉崎俊雄・根岸ゆき子 2月25日の本会議場で伝達表彰された。

〔敬称省略〕



編集室だより

南口駅前前の樹齢百年を超える楠木が伐採された。その切り株を見たら、町の事前調査の通り、いつ倒れてもおかしくないほど空洞になっていた。3月10日、現地視察の帰りに、急遽議員全員で新しく植えられた楠木を見学した。樹齢20年の、2代目楠木がシンボルツリーとして、ガラスのうさぎ像と共に駅南口の顔となる。さて、手堅い内容であつた26年度予算も無事成立。審議の詳細は議会報告会でお伝えしていく。わかりやすい報告会にするために、推進委員会を中心に全力で取り組んでいる。多くの町民の皆様の参加をお待ちしています。（桑原）

議会だより編集委員会
委員長 根岸ゆき子
副委員長 近藤 行宏
委員 杉崎 俊雄
委員 桑原 英俊
委員 脇 正文
委員 三橋 智子